

二級建築士試験／木造建築士試験 指定科目に該当する開講科目一覧

1/2

学校種別: 大学	学校課程コード: 3411-104-220
所在地都道府県: 広島県	審査受付番号: 171272
学校名 課程名: 広島大学 工学部 第四類(建設・環境系) 建築工学課程(平成30年03月31日募集停止等)	
対象入学年: 平成29年度(2017年度) 修業年限: 4年	新規申請の認定通知日: 2017/03/31
必要な実務経験年数 試験時:最短0年 登録時:最短0年	変更申請の認定通知日:

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
①建築設計製図	建築設計製図Ⅰ	2年	2
①建築設計製図	建築設計製図Ⅱ	2年	2
①建築設計製図	建築設計製図Ⅲ	3年	3
①建築設計製図	建築設計製図Ⅳ	3年	3
①建築設計製図	建築図学	2年	2
		小計	12
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅰ	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築計画Ⅱ	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	現代建築史Ⅱ	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	日本建築史	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	現代建築史Ⅰ	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境学Ⅰ	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境学Ⅱ	2年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築環境学演習	3年	1
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備Ⅰ	3年	2
②建築計画③建築環境工学④建築設備	建築設備Ⅱ	3年	2
		小計	19
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造力学Ⅰ	2年	4
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造力学Ⅱ	2年	4
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築物振動論	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	地盤・建築基礎構造	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	構造解析法	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築防災	4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築一般構造	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鉄筋コンクリート構造	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鋼構造設計基礎	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	鋼構造設計法	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	耐震構造	3年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築構造設計	4年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料	2年	2
⑤構造力学⑥建築一般構造⑦建築材料	建築材料実験	3年	1
		小計	31
⑧建築生産	建築施工	3年	2
⑧建築生産	建築生産マネジメント	3年	2
		小計	4
⑨建築法規	建築行政	3年	2
		小計	2
⑩複合関連科目	建築倫理	3年	2
⑩複合関連科目	建築コンピュータ工学	2年	2
⑩複合関連科目	都市計画	2年	2
		小計	6

学校種別: **大学**

学校課程コード: **3411-104-220**

所在地都道府県: **広島県**

審査受付番号: **171272**

学校名 課程名: **広島大学 工学部 第四類(建設・環境系) 建築工学課程(平成30年03月31日募集停止等)**

対象入学年: **平成29年度(2017年度)** 修業年限: **4年**

新規申請の認定通知日: **2017/03/31**

必要な実務経験年数 **試験時:最短0年 登録時:最短0年**

変更申請の認定通知日:

指定科目の分類	開講科目	履修学年	単位数
		①～⑨計	68
		①～⑩計	74

指定科目の分類別必要単位数(試験時・登録時)

① 3単位以上 ②③④ 2単位以上 ⑤⑥⑦ 3単位以上 ⑧ 1単位以上 ⑨ 1単位以上

修得単位数に応じた必要実務経験年数(試験時・登録時)の詳細は「二級建築士・木造建築士の受験・免許登録時の必要単位数(学校種類別)」を参照ください(例:上記、分類別必要単位数を満たし、かつ、①～⑩計40単位以上修得の場合、試験時:0年 登録時:0年となる)。